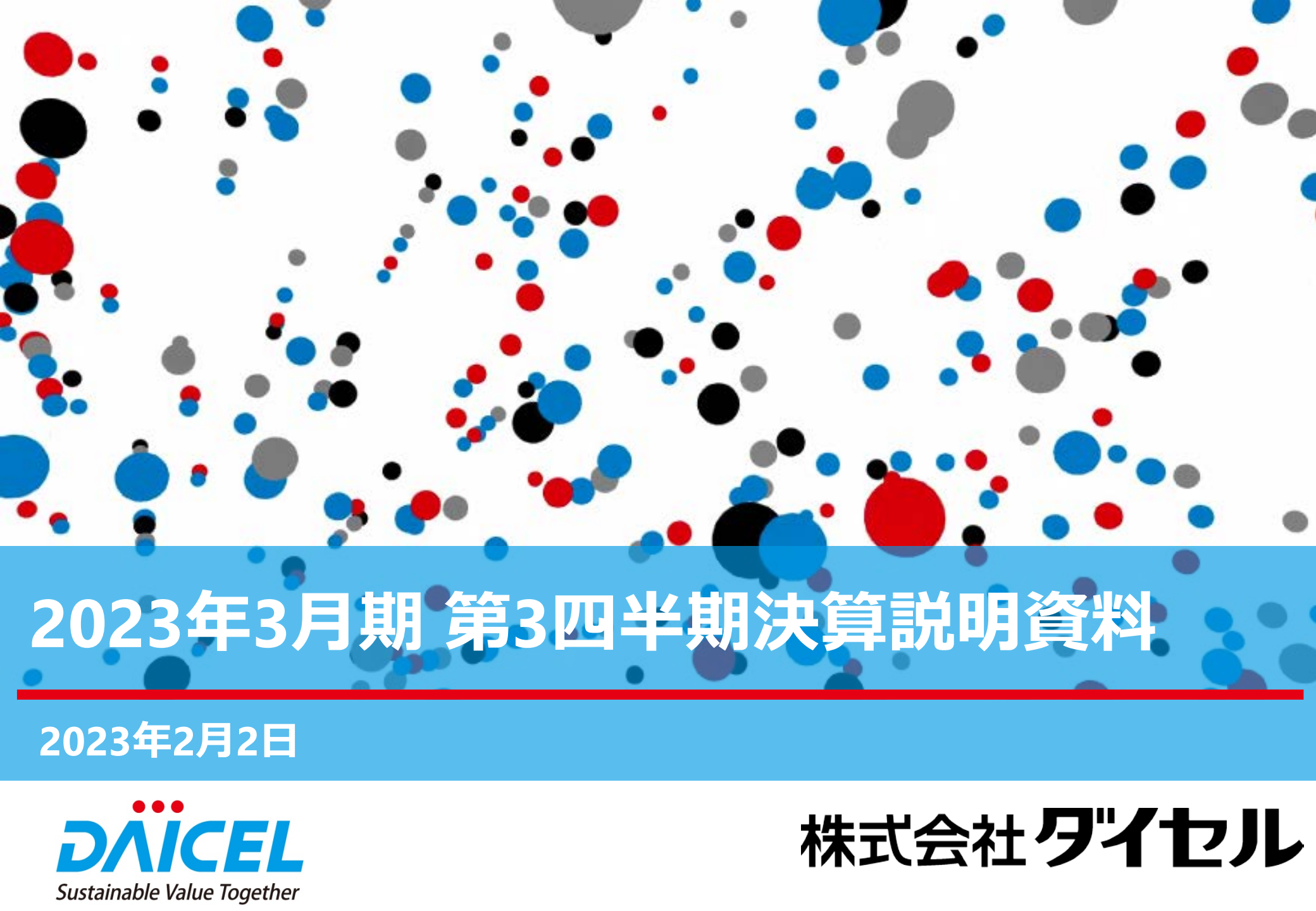




2023年3月期 第3四半期決算説明資料

2023年2月2日

目次

1. 決算サマリー	P. 3
2. 外部環境	P. 4
3. 2023年3月期 第3四半期決算	P. 6
4. 参考資料	P. 14



決算サマリー

◇ 2023年3月期 第3四半期 業績

売上高 4,045億円、営業利益 366億円、EBITDA 587億円

＜対前年同期＞

- 販売価格是正や為替の影響などにより増収となったものの、自動車生産の影響や電子デバイス需要の低下、原燃料・物流コスト上昇の影響を受け、営業利益は減益

＜対予想＞

- マテリアルの主要製品の拡販や販売価格の是正に取り組むも、自動車市場や液晶ディスプレイ市場の需要回復の遅れにより関連製品の販売数量が想定を下回ったことなどにより、売上高・営業利益は計画を下回った

◇ 中期戦略見直し（2024年3月期～2026年3月期）

2023年3月期決算と併せて2023年5月11日に公表予定

市場動向

セグメント	主要製品	主要市場	2023年3月期3Q累計期間の状況	2023年3月期4Q見通し
メディカル・ヘルスケア	化粧品原料 健康食品原料	コスメ ヘルスケア	コスメの国内市場は回復基調が継続。中国市場はロックダウンの影響により低調に推移 健康食品の国内市場は堅調に推移	コスメの国内市場は引き続き緩やかな回復傾向が継続する見通し。中国市場はゼロコロナ政策規制緩和による需要回復を見込む 健康食品の国内市場は堅調に推移する見通し
	キラルカラム	ライフ サイエンス	キラルカラム・充填剤は、中国市場でコロナ感染拡大の影響により一時的に需要が低下したものの、総じて海外需要は堅調に推移	中国におけるコロナ感染拡大の影響が懸念されるものの、引き続き欧米・インド市場を中心にキラルカラム需要は堅調に推移する見通し
スマート	TAC（※） 機能フィルム レジスト材料 電子材料溶剤	電子デバイス 半導体	液晶パネルは、前年度のコロナ禍からの需要回復に伴う増産が一巡し、需要低下による生産調整が継続 半導体市場は2Qまで堅調に推移していたが、成長鈍化による需要調整の兆しが3Qに見られ始めた	液晶パネル在庫は、適正化の兆しは見られるものの計画前提より遅れており、来期での適正化を見込む 半導体市場は成長鈍化により需要が想定を下回る見通し
セイフティ	エアバッグ用 インフレーター	自動車	自動車生産台数は1Qの中国ロックダウンから回復傾向にあるものの、半導体不足や中国におけるコロナ感染拡大などの影響により計画前提を下回った	自動車生産台数は緩やかな生産回復を見込むも、計画前提を下回る見通し

※TAC（Tri-acetyl cellulose）： 液晶表示フィルム向け酢酸セルロース

市場動向

セグメント	主要製品	主要市場	2023年3月期3Q累計期間の状況	2023年3月期4Q見通し
マテリアル	アセチル (酢酸、 酢酸誘導体、 アセテート・ トウ)	樹脂・インク 用原料 塗料用溶剤	3Qより酢酸の主用途であるVAM・PTAの需要に低下傾向がみられた。酢酸市況は供給面の回復により軟調に推移 酢酸エチルは、液晶ディスプレイ用途の需要は低下するも、食品包装向けインキの需要は好調を維持	酢酸の主用途であるPTA・VAMの需要は引き続き低下傾向を見込む。酢酸市況は引き続き軟調に推移する見通し 酢酸エチルの需要動向についても3Qまでの傾向が継続すると見込む
		繊維 フィルター	世界のたばこ生産本数は前年度並み。加熱式たばこ用の需要増からアセテート・トウ需要は堅調に推移	3Qまでの傾向が継続する見通し
	ケミカル (エポキシ樹脂、 カプロラクトン 誘導体、 その他化学品)	電材・ コーティング 用原料	カプロラクトン誘導体は注力する自動車向け塗料保護フィルム用途の需要が堅調に推移。エポキシ化合物は液晶ディスプレイや電子基板用途の需要が低下	カプロラクトン誘導体、エポキシ化合物ともに、3Qの傾向が継続する見通し
エンジニアリング プラスチック	POM PBT PPS	自動車部品	HEV・EV向け部品などは堅調であるものの、自動車減産に加え、部品メーカーによる在庫圧縮の影響により需要は低調に推移	緩やかな回復を見込むも、自動車生産台数は計画前提を下回る見通し
		電機・電子 ・精密機器	スマートフォンやパソコンなどの電子デバイス、家電の生産は中国ロックダウンおよび不安定な社会情勢による買い控えを背景とする需要の低下を受けて減少	スマートフォンやパソコンなどの電子デバイス、家電の生産は、引き続き個人消費の低下により低調に推移する見通し
	LCP	電子デバイス	スマートフォンの生産台数は中国ロックダウンおよび不安定な社会情勢による買い控えを背景とする需要の低下を受けて減少	スマートフォンなどの電子デバイスの需要は、引き続き個人消費の低下により低調に推移する見通し

2023年3月期 第3四半期業績

(単位：億円)

	2022/3 3Q実績	2023/3 3Q実績	対前年同期	
			増減	%
売 上 高	3,430	4,045	+615	+17.9%
営 業 利 益	393	366	△ 27	△6.9%
経 常 利 益	432	398	△ 34	△7.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	235	295	+60	+25.7%
為替レート USD/JPY	111	137		
EBITDA	612	587		

- 半導体不足などによる自動車生産回復の遅れや電子デバイス需要低下の影響を受けたものの、全社を挙げて販売価格是正に取り組んだことや、為替の影響などにより増収
- 販売価格是正に取り組んだものの、販売数量の減少や原燃料・物流コスト上昇の影響を受け、営業利益・経常利益は減益
- 前年同期にメディカル・ヘルスケア事業の減損損失（98億円）を計上。親会社株主に帰属する四半期純利益は増益

セグメント別 売上高・営業利益（対 前年同期 増減・要因分析）

（単位：億円）

売上高	2022/3 3Q実績	2023/3 3Q実績	増減	増減率	分析		
					数量差	単価差	単価差の内 為替影響
メディカル・ヘルスケア	146	165	+19	+13.0%	△ 4	+23	+20
スマート	240	232	△ 8	△3.4%	△ 23	+15	+10
セイフティ	503	621	+118	+23.4%	+51	+66	+66
マテリアル	892	1,135	+243	+27.2%	△ 1	+244	+165
エンジニアリング プラスチック	1,568	1,831	+263	+16.8%	△ 64	+327	+198
その他事業	80	61	△ 19	△23.5%	△ 19	-	-
合 計	3,430	4,045	+615	+17.9%	△ 60	+675	+460

営業利益	2022/3 3Q実績	2023/3 3Q実績	増減	増減率	分析			
					数量影響	価格影響	その他	営業利益の内 為替影響
メディカル・ヘルスケア	19	11	△ 8	△41.9%	+2	+8	△ 18	+9
スマート	36	△ 2	△ 39	-	△ 14	△ 18	△ 6	+1
セイフティ	24	9	△ 16	△64.5%	+21	+7	△ 43	+15
マテリアル	139	137	△ 3	△1.9%	+19	△ 9	△ 13	+76
エンジニアリング プラスチック	167	209	+42	+24.9%	△ 7	+120	△ 71	+72
その他事業	7	3	△ 4	△56.3%	△ 4	-	-	-
合 計	393	366	△ 27	△6.9%	+16	+109	△ 152	+171

セグメント別 営業利益（対前年同期 増減・要因分析）

（単位：億円）

		営業利益	営業利益の増減要因
メディカル・ヘルスケア	数量影響	+2	+ 22年8月 1,3-BG（化粧品原料）新プラント稼働
	価格影響	+8	+ 為替影響
	その他	△ 18	△ 減価償却費など費用増加
スマート	数量影響	△ 14	△ 光学フィルム用酢酸セルロース（TAC）の販売数量減少
	価格影響	△ 18	△ 原燃料価格上昇
	その他	△ 6	△ 経費増加
セイフティ	数量影響	+21	+ 販売数量増加、操業度増加
	価格影響	+ 7	+ 為替影響
	その他	△ 43	△ 経費増加
マテリアル	数量影響	+19	+ アセテート・トウやラクトンなどの販売数量増加、操業度増加
	価格影響	△ 9	△ 原燃料価格上昇
	その他	△ 13	△ 直接販売費などの費用増加
エンジニアリング プラスチック	数量影響	△ 7	△ 販売数量減少
	価格影響	+ 120	+ コスト上昇に伴う価格是正、為替影響
	その他	△ 71	△ 直接販売費などの費用増加、在庫影響

セグメント別情報（2023年3月期 第3四半期累計期間（4月～12月）の状況）

＜対前年同期＞

メディカル・ヘルスケア	1,3-BGなどの化粧品原料は、中国でのロックダウンの影響などにより販売数量が減少し、減収 - キラル関連製品は、キラルカラム・充填剤の海外市場向けの販売が好調に推移したことやインドのサービス事業の伸長、為替の影響などにより、増収
スマート	- 光学フィルム用酢酸セルロース（TAC）は、パネルメーカーの稼働調整の影響により販売数量が減少し、減収。機能フィルムは車載ディスプレイ用途の拡販などにより、増収 - 電子材料向け溶剤は、液晶パネル市場での稼働調整の影響を受けたものの、半導体用途での拡販や、原燃料コスト上昇などに伴う販売価格の改定に取り組んだことにより、増収。フォトレジスト材料も液晶パネル材料用途での販売数量が減少したものの、半導体用途の拡販により、増収
セイフティ	インフレータは、中国ロックダウンや半導体不足などの影響を受けたものの、自動車生産は回復傾向にあり、販売数量が増加したことや為替の影響などにより、増収
マテリアル	- 酢酸は市況の低下や定期修繕に伴う販売調整の影響などにより、減収 - アセテート・トウは前年同期の減収要因であった会計基準変更の影響が無くなったことに加え、加熱式たばこ向けの需要増加などにより販売数量が増加したことや価格是正ならびに為替の影響により、増収 - カプロラクトン誘導体は注力する自動車向け塗料保護フィルム用途の拡販や原燃料コスト上昇に伴う販売価格是正に取り組んだことなどにより、増収。エポキシ化合物は販売価格是正に取り組むも、液晶ディスプレイや電子基板用途の需要低下などにより、減収
エンジニアリングプラスチック	エンジニアリングプラスチックは、自動車生産回復の遅れに伴う部品メーカーの在庫圧縮、電子デバイスの需要低下の影響などにより、販売数量は減少したものの、原燃料・物流コスト上昇に伴う価格是正に取り組んだことや為替の影響により、増収

通期予想（※）に対する進捗率

（単位：億円）

全社業績	2023/3 3Q実績	通期予想	進捗率	セグメント別 売上高・営業利益	売上高			営業利益		
			%		2023/3 3Q実績	通期予想	進捗率 %	2023/3 3Q実績	通期予想	進捗率 %
売上高	4,045	5,790	69.9%	メディカル・ヘルスケア	165	240	68.7%	11	23	46.8%
営業利益	366	540	67.7%	スマート	232	370	62.7%	△ 2	15	-
経常利益	398	590	67.4%	セイフティ	621	930	66.8%	9	57	15.1%
親会社株主に帰属する 四半期/当期純利益	295	410	72.1%	マテリアル	1,135	1,570	72.3%	137	160	85.4%
為替レート USD/JPY	137	137		エンジニアリング プラスチック	1,831	2,590	70.7%	209	280	74.5%
EBITDA	587	860	68.3%	その他	61	90	68.2%	3	5	62.8%
				合 計	4,045	5,790	69.9%	366	540	67.7%

- 第3四半期の営業利益は、マテリアル、エンジニアリングプラスチックが計画を上回るも、メディカル・ヘルスケア、スマート、セイフティは計画を下回り、全体としても計画を下回った
- マテリアルは主要製品の拡販、コスト上昇に伴う価格是正を実施
- エンジニアリングプラスチックは、販売数量は計画を下回るも、製品市況が低下傾向のなかで販売価格の維持に取り組むことで利益を確保
- 自動車市場・液晶ディスプレイ市場について、通期予想では年度末にかけて段階的な需要の回復を見込むも、需要回復の遅れにより、各セグメントにおける関連製品の販売数量が予想を下回った

セグメント別情報（2023年3月期 第3四半期（10月～12月）の状況）

<対予想>

メディカル・ヘルスケア	1,3-BGなどの化粧品原料は、定期修繕に伴う販売数量の減少などにより、売上高が計画を下回った - キラル関連製品は、キラルカラムの販売が中国におけるコロナ感染拡大の影響を受けたことなどにより、売上高は計画より減少
スマート	- 光学フィルム用酢酸セルロース（TAC）は、パネルメーカーの稼働調整の影響が想定を上回り、販売数量は対計画で減少し、売上高も計画より減少。機能フィルムは、車載ディスプレイ用途が堅調に推移したものの、ディスプレイ市場の需要回復の遅れの影響などにより、売上高は計画を若干下回った - 電子材料向け溶剤は、半導体用途や液晶パネル材料用途の販売数量が計画を下回ったことにより売上高は計画を下回った。フォトリソ材料も液晶パネル材料用途の販売数量が計画を下回ったものの、半導体用途が堅調に推移したことにより、売上高はほぼ計画並み
セイフティ	インフレータは、半導体不足や中国におけるコロナ感染拡大による自動車減産の影響などにより販売数量が想定を下回り、売上高は計画より減少
マテリアル	- 酢酸は、PTA・VAM需要低下の影響などにより売上高は計画より減少 - アセテート・トウは加熱式たばこ向け需要増に対応した販売数量増や価格是正により、売上高は計画を上回った - カプロラクトン誘導体は、自動車向け塗料保護フィルム用途需要は堅調に推移し、売上高は計画並み。エポキシ化合物は、液晶ディスプレイ用途の需要低下の影響により、売上高は計画より減少
エンジニアリングプラスチック	エンジニアリングプラスチックは、販売価格維持に取り組むも、自動車生産台数が計画前提を下回った影響や、電子デバイスの需要低下の影響などにより販売数量が想定を下回り、売上高は計画より減少



増益基調確立に向けたアクション

今期ならびに来期に向けた増益基調の実現に向けて、需要が拡大する製品の着実な拡販を進めるとともに、需要回復が遅れている製品については状況に応じた適切なアクションを迅速に実施します。

- 現在の販売状況に応じた全社経費の見直し、削減
- 市場環境に応じた生産計画の調整による在庫削減
- 販売状況や工場の稼働状況に応じたきめ細やかな視点での製造経費および修繕費の見直し、削減
- 各工場におけるコストダウンの積み増し
- 製品需要の反転時に迅速かつ確実に販売機会を捉える体制の構築
- 1,3-BGの販路、用途開拓による拡販（メディカル・ヘルスケア）
- ディスプレイ向けTACのシェアアップや電材溶剤の販路拡大による拡販（スマート）
- 安定生産、品質確保を前提とした収益改善の加速（セイフティ）
- 既存設備をフル活用したアセテート・トウの供給能力拡大（マテリアル）
- スペックイン市場の需要減に対応した汎用グレードの拡販（エンジニアリングプラスチック）

連結貸借対照表

(単位：億円)

		2022年 3月末	2022年 12月末	増減
流動資産		3,602	4,082	+480
	現預金及び有価証券	905	895	△ 10
	受取手形及び売掛金	1,026	1,058	+33
	棚卸資産	1,420	1,781	+361
	その他	252	348	+96
固定資産		3,386	3,499	+114
	有形固定資産	2,298	2,492	+193
	無形固定資産	101	113	+12
	投資その他資産	987	895	△ 92
資産合計		6,988	7,582	+593
負債		4,193	4,655	+462
	有利子負債	2,836	3,221	+385
	その他	1,357	1,434	+77
純資産		2,795	2,927	+131
負債純資産 合計		6,988	7,582	+593

- 総資産増加額593億円のうち、110億円が為替影響
- 棚卸資産は主に以下の要因により増加
 - 為替、原燃料価格上昇の影響による増加
 - ポリプラスチックス中国拠点移転計画に伴う在庫積み増しを実施
- 有形固定資産増加の主な要因は、中国におけるPOM製造能力増強投資
- 運転資金増加に伴い、短期資金調達を実施

参考資料

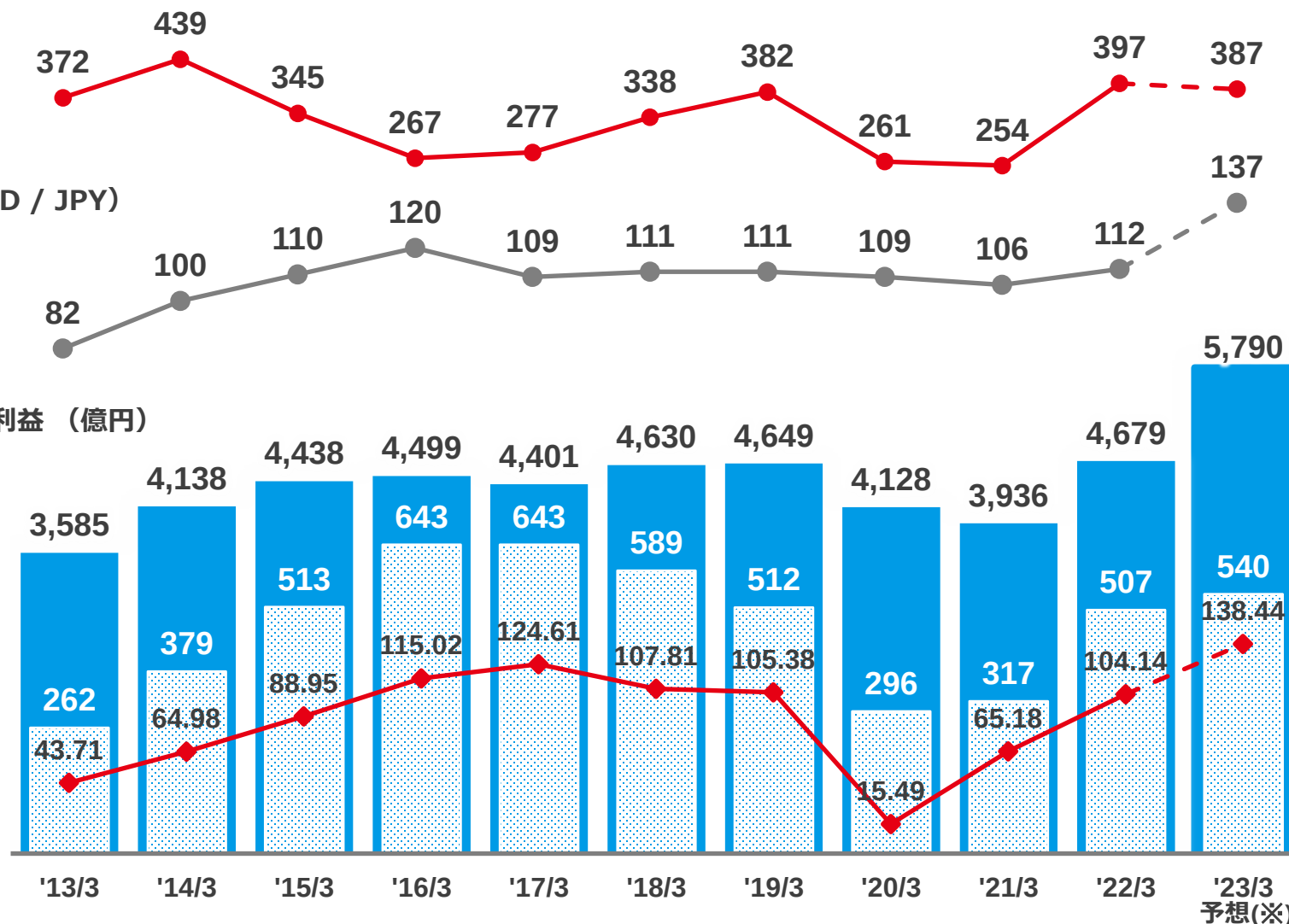
売上高・営業利益・EPSの推移

● メタノールアジアスポット価格 (USD / ton)

● 為替レート (USD / JPY)

■ 売上高・□ 営業利益 (億円)

◆ EPS (円)



セグメント別 売上高・営業利益（四半期推移）

（単位：億円）

売上高	2022/3				2023/3		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
メディカル・ヘルスケア	48	48	50	49	54	55	56
スマート	80	75	86	85	96	66	71
セイフティ	163	156	185	191	178	220	224
マテリアル	283	298	312	336	347	377	411
エンジニアリングプラスチック	515	529	524	555	587	648	595
その他事業	26	28	26	34	18	17	26
合 計	1,114	1,135	1,182	1,250	1,280	1,383	1,383

営業利益	2022/3				2023/3		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
メディカル・ヘルスケア	6	8	5	6	7	4	△ 0
スマート	15	11	11	4	11	△ 8	△ 6
セイフティ	△ 0	11	13	2	△ 4	0	12
マテリアル	44	42	53	44	49	55	33
エンジニアリングプラスチック	71	60	36	54	66	79	64
その他事業	4	1	3	5	1	0	2
合 計	139	133	120	114	130	130	105

2023年3月期通期業績予想

(単位：億円)

		2022/3実績			2023/3 予想 (※)			増減
		上期	下期	年間	上期実績	下期予想	年間予想	
	メディカル・ヘルスケア	96	99	195	109	131	240	+45
	スマート	154	170	325	162	208	370	+45
	セイフティ	319	376	695	397	533	930	+235
	マテリアル	580	648	1,228	724	846	1,570	+342
	エンジニアリングプラスチック	1,044	1,079	2,123	1,236	1,354	2,590	+467
	その他事業	54	60	114	35	55	90	△ 24
売 上 高		2,248	2,431	4,679	2,662	3,128	5,790	+1,111
	メディカル・ヘルスケア	14	10	24	11	12	23	△ 1
	スマート	26	15	40	4	11	15	△ 25
	セイフティ	11	15	26	△ 4	61	57	+31
	マテリアル	86	97	183	103	57	160	△ 23
	エンジニアリングプラスチック	132	90	221	145	135	280	+59
	その他事業	5	7	12	1	4	5	△ 7
営 業 利 益		273	234	507	260	280	540	+33
経 常 利 益		298	275	573	302	288	590	+17
親会社株主に帰属する当期純利益		220	92	313	222	188	410	+97
(参考) 為替レート USD/JPY		110	115	112	134	140	137	

※ 今回は、2022年11月2日に発表した業績予想から見直しておりません。

為替レート・主要原燃料価格

		2022/3		2023/3		
		上期実績	下期実績	上期実績	下期計画	3Q期間実績
為替レート (USD/JPY)		110	115	134	140	142
原料	メタノール アジアスポット価格 (USD/ton)	368	427	374	400	345
	原油 ドバイ (USD/bbl)	70	87	102	100	86
	国産ナフサ (円/kl)	50,500	62,650	83,750	76,000	72,000(※)

※ 2023年2月2日現在の予想値

- 本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。
- ご使用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

本資料の著作権は株式会社ダイセルに帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

愛せる未来、
創造中。

● ● ●
DÄICEL